

この紙のゴール：先行詞と節の関係を見て関係代名詞を選び、場面に合わせて使える / 選んで答える版。じっくり読めば必ず解けます。

1 場面に合うほうを○でかこもう。

知識・技能

各3点

(1) 転校生に部活を紹介して	We have a coach (who / which) once played in a professional league.
(2) 校門の前で写真を見せながら	The cat (who / which) sleeps by the school gate every day has no name yet.
(3) 席がえのあとで	I sit next to a boy (who / whose) sister is in my art club.
(4) 新しい図書館の感想を聞かれて	Everyone says (that / which) the new library is easy to use.

2 対話を通じるように () に英語を書こう。

知識・技能

各2点

語群: whose / that / who (1回ずつ、そのまま使う)

A: Is that the senior () won the speech contest last month?

B: Yes! She's the student () speech made the principal cry.

A: Wow. The talk () she gave at our club was great, too.

B: Let's ask her for some advice after school.

3 自分のことを書こう。

思考・判断・表現

2点

あなたの「たからもの」(人でも物でもOK)を、関係代名詞を使って英語I文で紹介しよう。
書き出しヒント: 主語 + is the person who ... / The ____ (that) I ... is ...

4 コンマが1つあるかないかで、意味が変わります。

思考・判断・表現

各2点

留学生に家族の話をします。どちらも正しい英文です。

A My sister who lives in Osaka is a doctor.

B My sister, who lives in Osaka, is a doctor.

① 姉妹がこの姉1人だけ、という人が使うと不自然になるのはどちらですか。記号で答えよう。

② なぜそうなるのですか。理由を書こう。

ヒント: 「コンマなしの関係代名詞は……」の形で書く

解答

1		2	
(1)	who	(1)	who
(2)	which	(2)	whose
(3)	whose	(3)	that
(4)	that		

3（解答例） My bicycle is the thing that I treasure most.

4 ①は正答が1つ。②は一例で、趣旨が合っていれば表現は問いません

①	A	コンマなしは「複数の中からどれかを特定する」読みを生む。
②	「コンマなしの関係代名詞は『複数の中から特定する』読みを生むから。」（一例）	Aは「（何人かいる姉妹のうち）大阪に住んでいる方の姉」と聞こえ、 ほかにも姉妹がいる前提 になる。姉妹がこの姉1人だけならB—コンマで「ひとこと補足」に変わる。ここを説明できれば、この単元の芯が分かっている。

採点のめやす

- ・大問1の正解は(1)who・(2)which・(3)whose・(4)that（接続詞）—4問とも別の語です。「関係代名詞の単元だから which」と当てにいった答案は(1)(3)(4)が落ちます—返却時にここを1分取り上げてください。
- ・大問1(4)は**どの帯にも残します**—この小テストでただ1つ「関係代名詞ではない」問題です（says のうしろに欠けている席がない＝接続詞の that）。ここを落とした答案は、節の中の「欠け」を見る手順がまだ入っていません。
- ・大問1(2)は「ネコだから who」と書いた答案が出ます。動物は原則 which—名前のついたペットを who で受ける英語も実際にはありますが、この小テストでは which を正解としてください。
- ・大問2の語群は基礎版だけにあり、3語とも並びを空所の順とわざとずらしてあります（順番で当てられないように）。基礎版は「3語がそれぞれ1回ずつ使われていれば満点」の運用がいちばん揉めません。標準版・発展版は語群なしの記入式—(1)は that も可、(3)は which も可、(3)に×（何も置かない）と書いた答案は目的格の省略が分かっているので誤りにしないでください。
- ・大問3は関係代名詞の節（省略の形もOK）が1つ入っていて、節がどの名詞を説明しているか読み取れれば内容は問いません。発展版は2文で1つの解答です—2文目は It reminds me of ～ など、関係代名詞がなくてもかまいません。
- ・大問4は暗記では答えられない問いです。AもBも正しい英文なので、形だけを見ても選べません。②は「特定する読みになる／ほかにも姉妹がいる前提になる」の趣旨が書けていれば表現は問いません。
- ・帯ごとの扱い：学び直し帯は見取り図が主格の2行で、コンマつき（非制限用法）も範囲外なので、大問1(3)と大問2(2)(3)と大問4を外して13点満点で扱ってください。外した大問4は、返却時に「コンマ1つで意味が変わる」の予告として見せるだけにします。
- ・基礎固め帯は whose とコンマつきが範囲外（見取り図が「出しません」と宣言）なので、大問1(3)と大問2(2)と大問4を外して15点満点。実力帯・入試帯は24点満点です。
- ・発展版は大問1が記入式です。(1)(2)は that も正解。(3)の whose を who's と書いた答案は誤りです—whose のうしろには名詞が続く、を返却時に。(4)に which と書いた答案は、says のうしろに「欠けた席」がないことを1行添えて返すこと。
- ・大問4を加えて24点構成です。10分で最後まで届かないクラスは、大問3を宿題に回すか、大問4だけを次の時間の導入に使ってください。